

石巻発のカーシェアリングを漫画で全国へ！ コミュニティ・カーシェアリング実践ガイドブック 『よし、やってみよう！』のご案内

石巻エコ EV カーシェアリング検討委員会（宮城県石巻市）では、2015年6月から石巻市内の復興公営住宅に太陽発電で充電する電気自動車のカーシェアリングシステムを導入し、「移動」・「コミュニティ」・「防災」における効果の検証と、仕組みの継続的なモデル化に向けての検討を行うための実証実験を行ってきました。この度、その検証結果と構築されたモデルを整理したガイドブックを制作しましたのでお知らせします。

■ガイドブックの特徴

- ・ A4（40 ページ）
- ・ わかりやすく漫画で表現
- ・ 震災後実践してきたノウハウを、更に検討委員会で協議し、再構築した内容を紹介
- ・ 吉野町復興住宅での実績（検証結果）を紹介
 - ※団地内に仲の良い知り合いはいますか？という設問に対して、カーシェアリングを利用していない方が、「いない」という回答が 44%に対して、利用者は「いない」が 0%で、「たくさんいる」が 64%の結果が出ました。
- ・ 日本カーシェアリング協会ホームページ上で公開、冊子は無料で配布

概要は添付資料および下記の URL をご参照ください。

<http://www.japan-csa.org/>

【本件に関する報道関係の問合せ先】
石巻エコ EV カーシェアリング検討委員会
事務局 吉澤
TEL : 0225-22-1453
Email : info@japan-csa.org

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

石巻発のカーシェアリングを漫画で全国へ！

コミュニティ・カーシェアリング実践ガイドブック『よし、やってみよう！』のご案内

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会(宮城県石巻市)は、2015年6月から石巻市内の復興公営住宅に太陽発電で充電する電気自動車のカーシェアリングシステムを導入し、「移動」・「コミュニティ」・「防災」における効果の検証と、仕組みの継続的なモデル化に向けての検討を行うための実証実験を行ってまいりました。その検証結果と構築されたモデルを整理したガイドブックを制作しました。今後、石巻市以外の場所でも実践していただくために、WEB上で内容を公開し、希望者には無料で冊子の配布を行います。多くの支援をいただき構築したこの仕組みを、今度はより多くの方々に活用していただきたく、ご案内申し上げます。

< ガイドブックの特徴 >

1. A4(40ページ)
2. わかりやすく漫画で表現
3. 震災後実践してきたノウハウを、更に検討委員会で協議し、再構築した内容を紹介
4. 吉野町復興住宅での実績(検証結果)を紹介(別紙参照)
※団地内に仲の良い知り合いはいますか?という設問に対してカーシェアリングを利用していない方が、「いない」という回答が44%に対して、利用者は「いない」が0%で、「たくさんいる」が64%の結果が出ました。
5. 日本カーシェアリング協会ホームページ上で公開、冊子は無料で配布(数量に限りあり)
掲載URL: <http://www.japan-csa.org/>



< コミュニティ・カーシェアリングと石巻エコEVカーシェアリング検討委員会について >

震災後全国から寄付で集まった車を活用して一般社団法人日本カーシェアリング協会が石巻市内の仮設住宅等でカーシェアリングによるサポートを開始しました。特徴は、住民自らが運営管理し、住民同士の乗り合いでの外出や外出支援活動等の助け合い、旅行等を通じてコミュニティを育むことを目的としていることです。2014年11月、日本カーシェアリング協会と石巻市関係課、地元大学・住民組織らで検討委員会を結成し、今後のまちづくりに活かすことを見据え、その効果の検証と継続性のあるモデル化を行うための協議が開始しました。日本カーシェアリング協会は、現在約85台の車を活用し、コミュニティ・カーシェアリング等の車を活用した様々な社会貢献を実践しています(うち電気自動車11台)。



※当事業は、三菱商事復興支援財団の助成を受けて実施しています。

※当事業は、復興庁の平成27年度「新しい東北」先導モデル事業として実施しています。



< 問い合わせ先 >

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会

(事務局 一般社団法人日本カーシェアリング協会 担当:吉澤)

〒986-0005 石巻市大瓜字鷺の巣45-1仮設大瓜団地集会所内

TEL/FAX : 0225-22-1453 E-mail : info@japan-csa.org URL: <http://www.japan-csa.org/>

日本カーシェアリング協会公式ホームページから
ガイドブック全ページ(40 ページ)ダウンロードいただけます。

<http://www.japan-csa.org/>

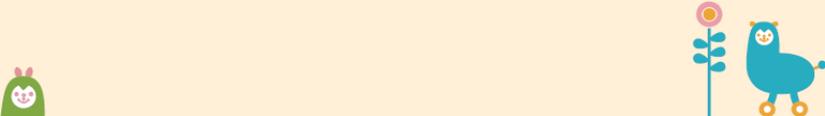
抜粋した数ページご紹介させていただきます。

コミュニティ・カーシェアリング 実践ガイドブック



イラスト・漫画 / FUMIO OBATA
デザイン / 宮本 悠合

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会



東日本大震災の後、石巻の仮設住宅で被災住民が主体的に運営する『コミュニティ・カーシェアリング』が生まれました。

2014年11月、石巻の地元行政・教育機関・住民団体・専門家らで『石巻エコEVカーシェアリング検討委員会』を結成し、『コミュニティ・カーシェアリング』の復興公営住宅への導入を丁寧に確認していきながら、その効果を検証し、継続的に推進できるモデル化に向けての検討を行ってまいりました。

この冊子は、その検討の結果、整理されたモデルを他の地域で実践していただくためのガイドブックです。高齢化・移動・コミュニティ・防災・エコ等のテーマに向き合う自治体・NPO・町内会等の方々にとって、その活動の応援になればと願っております。

マンガの街「石巻」にちなんで、マンガ風にしてみましたので肩の力を抜いて、楽しみながら読み進めていただければ嬉しいです。



石巻エコEVカーシェアリング検討委員会 メンバー一同

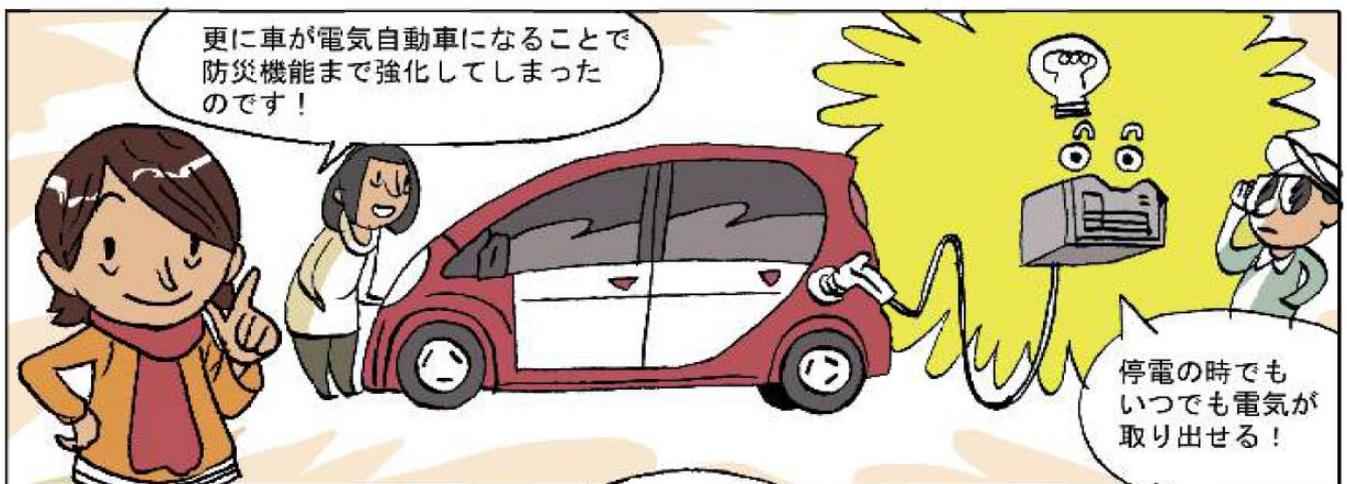
❁ もくじ

- 石巻で生まれた「コミュニティ・カーシェアリング」って何？ 4
- サポーターの役割 8
- 「コミュニティ・カーシェアリング」を始めよう！
 - 実施までの流れ 10
 - 1. 車を確保する、2. 案内（関心のある方に集まってもらう） 11
 - 3. 説明会（お試しのためのルールづくり） 12
 - 4. お試し運行 14
 - 5. ルールの制定と会の発足 15
 - 6. 車の登録 16
 - 7. 本格スタート、8. 定期会合 17
 - こんな時、どうするの？ 18
- 旅行に行こう！ 20
- 防災機能を強化する！ 22
- 地域との関わり 26
- （参考資料）吉野町復興公営住宅での実績 28
- （参考資料）利用者座談会 30
- （参考資料）道路運送法を守ろう 34
- （参考資料）石巻エコEVカーシェアシステムのご紹介 36
- （参考資料）広がるコミュニティ・カーシェアリング 38



石巻で生まれた「コミュニティ・カーシェアリング」ってなに？





防災機能を強化する!

その2



石巻の吉野町復興公営住宅に導入されたシステムを活かした防災体制についてご紹介します。

その日は突然訪れた...

地震の影響で石巻全域が停電となった!

Aさん、今、危機対策課から●●地区の避難所に電源として1台電気自動車の要請がありました。駆けつけてもらえますか?

はい、わかりました!

カーシェア会員Aさん

あっ、電池が殆ど無い! 充電して無かった。

よし! こんな時は吉野町復興公営住宅へ!

ここには太陽光発電のみで電気自動車を充電できるシステムを搭載! ※詳しくはP36, 37

こうなると電気自動車は、動かさない、電気も取り出せない、その能力を発揮できないのです。

系統電力を補完するだけの太陽光発電では非常時にはうまく機能しない可能性があるからね!

しかし、雨が降り出してきた。でも大丈夫!

今日は発電しなさそう...

電気自動車から電気自動車へ充電ができるため、雨天でも車同士で電気を分け合い複数個所の給電に対応することができるのです。

充電できたし、いざ避難所へ!

無事、車から電気を供給できました。

石巻市内では、各地区にこのような電気自動車を活かせる防災拠点設置の協議を進めています。

電気自動車を非常時でも活用できる環境を作り市民と共同で防災体制を築く...

石巻防災スタイル!

イエーイ!

実際に行われた防災訓練

2015年11月、石巻市内で電気自動車を使用した総合防災訓練が行われました。石巻市内全域が停電状態の際に、電動車両を活用し市内の電気を必要とする場所へスムーズに電力を届けることを想定し、市内8箇所ですべて同時に訓練を実施しました。



電気自動車9台を吉野町復興公営住宅に集め、「太陽光発電のみを活用した、電気自動車充電システム」で充電訓練を実施。その後、市内8箇所の被災想定地区へ向かい、各地区で給電訓練を行った。



普段カーシェアリングで電気自動車を活用しているユーザーと地元ディーラーが各地区に駆けつけました。



(参考資料) 吉野町復興公営住宅での実績



石巻エコEVカーシェアリング検討委員会でサポートを行った吉野町復興公営住宅での実施結果(2015年度)をデータと共にご紹介いたします。

吉野町復興公営住宅の特徴

- ✿ 世帯数：約150世帯 (約300人)
- ✿ 近隣で被災された方が多く入居



この団地で結成された「吉野町カーシェア会」のメンバーの証として、3種のマグネットを配布し、そのお宅のドアに掲示しています。



運営役員 応援団 利用者

実施内容

住民の入居が完了した6月にコミュニティ・カーシェアリングを導入しました。現場の状況を確認しながら検討委員会での検討や東北運輸局との協議等で課題が整理・解決できたことを利用者の皆さんにお伝えした結果、1月に吉野町カーシェア会を結成し、ルールを新たに制定することになりました。1カ月のテスト運行の後、2月にルールを見直し、会としての本格的な活動を開始しました。

- | | | | |
|----|-----------------------------|-----|-----------------------------------|
| 4月 | 鍵渡し開始(～5月仮設住宅からの引っ越し期間) | 10月 | 旅行(鳴子温泉) |
| 6月 | カーシェアリング導入
説明会実施、テスト運行開始 | 11月 | 防災訓練実施 |
| 7月 | 電気自動車(2台体制)で本格運行開始 | 1月 | 吉野町カーシェア会設立
新ルールでテスト運行期間(1台体制) |
| 9月 | 地域ハイキングで
給電デモンストレーション実施 | 2月 | 旅行(追分温泉)
吉野町カーシェア会本格運行開始 |

利用状況

車両のメンテナンスなどによる代車利用や、利用のルール変更による一時的な利用減少を除けば、月毎の変動はあるものの安定して利用が行なわれました。
吉野町カーシェア会の会員数は30名(2016年2月末)となり、入居者の約1割程度の方が、会員として参加して下さいました。

利用人数(人)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ドライバー	3	5	4	3	3	2	2	2	2
外出支援利用(団地内)	7	10	10	8	7	8	11	10	12
外出支援利用(団地外)	6	6	7	7	4	4	4	1	4
合計	16	21	21	18	14	14	17	13	18

利用回数(回)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
個人利用	8	15	10	13	3	6	4	13	5
外出支援利用(団地内)	15	28	21	24	27	19	41	22	32
外出支援利用(団地外)	12	14	16	22	8	10	10	1	14
その他	0	3	5	6	6	5	9	0	12
合計	35	60	52	65	44	40	64	36	58

利用距離(km)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
利用距離	1012	1185	1121	1118	1497	1140	1132	654	1008

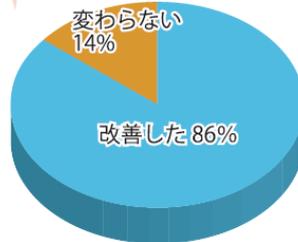
アンケート結果

(有効回答総数：約150 世帯中 68 世帯)

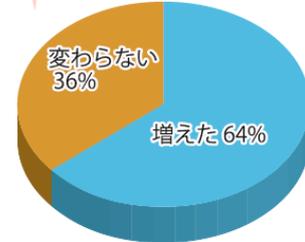
移動

移動困難な状況が改善され、
外出頻度が増加している。

Q. 移動困難が改善しましたか？※



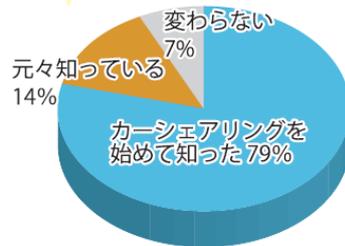
Q. 外出頻度は増えましたか？※



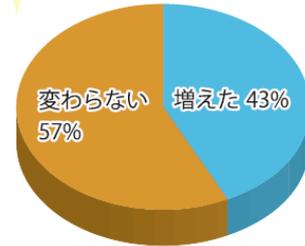
防災

電気自動車の防災利用への
認知が高まり、避難時の
住民間の連携も取りやすくなった。

Q. 電気自動車の防災利用
(車から電気を取り出せること)
について知っていますか？※



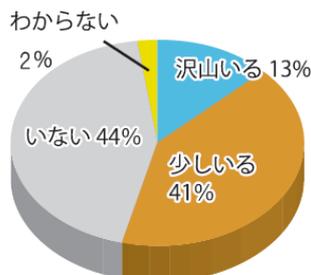
Q. 災害時、声を掛け合って一緒に避難
できる人が家族以外に増えましたか？※



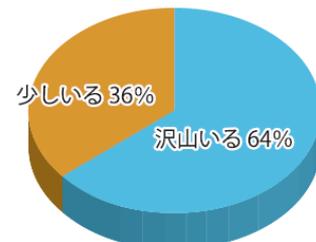
コミュニティ

利用していない人と比べて
人づきあいが圧倒的に
増えている。

Q. 団地内に仲の良い知り合いはいますか？



カーシェア利用者以外

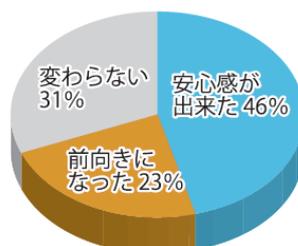


カーシェア利用者

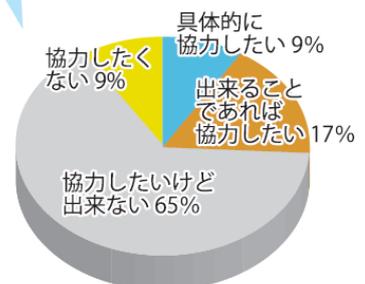
精神面

精神でもポジティブな
変化があり、参加できる
地域活動としても関心
が生まれている。

Q. 気持ちに変化はありましたか？※



Q. カーシェアリングへの協力について



※の設問はコミュニティ・カーシェアリングの利用者のみにご回答を頂きました。